

第 29 回全国障害者スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画

1 趣旨

第 29 回全国障害者スポーツ大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

下記に基づいて第 29 回全国障害者スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 第 29 回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針
- (2) 第 29 回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針
- (3) 第 29 回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本計画
- (4) 国民スポーツ大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準（（公財）日本スポーツ協会）
- (5) 先催県における競技会運営状況
- (6) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

第 29 回全国障害者スポーツ大会 審判員及び要資格運営員の養成目標数

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

<参考>

第29回全国障害者スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時*1 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成*2 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	サウンドテーブルテニス	21	13	0	13	3	0	3	10	0	10	13
2	フライングディスク	144	80	64	144	2	33	35	109	22	87	114
3	ボッチャ	94	69	0	69	5	10	15	54	7	47	62
4	車いすバスケットボール	84	18	0	18	11	0	11	7	0	7	10
5	グランドソフトボール	62	24	4	28	0	0	0	28	0	28	38
6	フットソフトボール	62	24	4	28	0	0	0	28	0	28	38
合計		467	228	72	300	21	43	64	236	29	207	275

※1 開催時従事見込数：2030年の第29回全国障害者スポーツ大会開催時に審判員・要資格運営員として活動できる県内有資格者数

審判員の年齢（定年制を含む）や審判員以外（選手・監督等）で全スポに参加する等の理由により、今後の審判員養成の対象外となるものを除く

※2 養成目標数：原則として、⑨不足数に1.3を乗じた数（1.3倍の安全率は途中で資格取得が困難になった場合の減少数を考慮して設定）